



LED元年宣言。



日本初の電球を実用化して以来約120年。東芝は人々が真に求める照明を常に考え、最先端のあかりを提供してきました。そして今、東芝が力を入れているのがLED照明です。
東芝は1960年代よりLEDの開発を始め、2007年からLED照明「E-CORE」シリーズを販売してきましたが、今年はいよいよ一般電球と置き換え可能なサイズ・形を実現した^{※1}「LED電球 一般電球形」を発売し、ラインナップをさらに拡大。本年をLED照明が本格的に普及していく「LED元年」と位置づけ、新製品の投入を進めていきます。
今秋にはLED電球では最高の明るさと効率^{※2}を実現した「E-CORE 一般電球形8.7W」を発売。自然電球に比べ、寿命は約40倍^{※3}、CO₂約76%～84%削減^{※4}の環境性能に加え、点滅応答性の早さや、熱放出や紫外線放射の少なさなど、さまざまな長所を兼ね備える新時代のあかりです。あかりを変えれば、未来が変わる。電球を変えるあなたの手で、地球の未来を変えませんか。

※1. 既製品に比べ、全長約100mm、全径約60mmのコンパクトなサイズを実現。E-CORE「E-CORE 一般電球形8.7W」(標準色)の全長は約100mm、全径は約60mmです。
※2. 1000lm/8.7Wの明るさと、消費電力が約0.5Wの省電力を実現。E-CORE「E-CORE 一般電球形8.7W」(標準色)の消費電力は約0.5Wです。
※3. 自然電球の平均寿命は約1000時間、E-CORE「E-CORE 一般電球形8.7W」(標準色)の平均寿命は約40000時間です。
※4. 自然電球のCO₂排出量は約1000g/1000時間、E-CORE「E-CORE 一般電球形8.7W」(標準色)のCO₂排出量は約240g/1000時間です。

あかりを変える。未来が変わる。

LEDは東芝

近日発売。
8.7W LED電球。

エコポイント交換商品

LED電球で業界最高の明るさと効率を実現した新商品登場。いよいよ世の中のあかりの主役がLEDになる時代が始まります。